

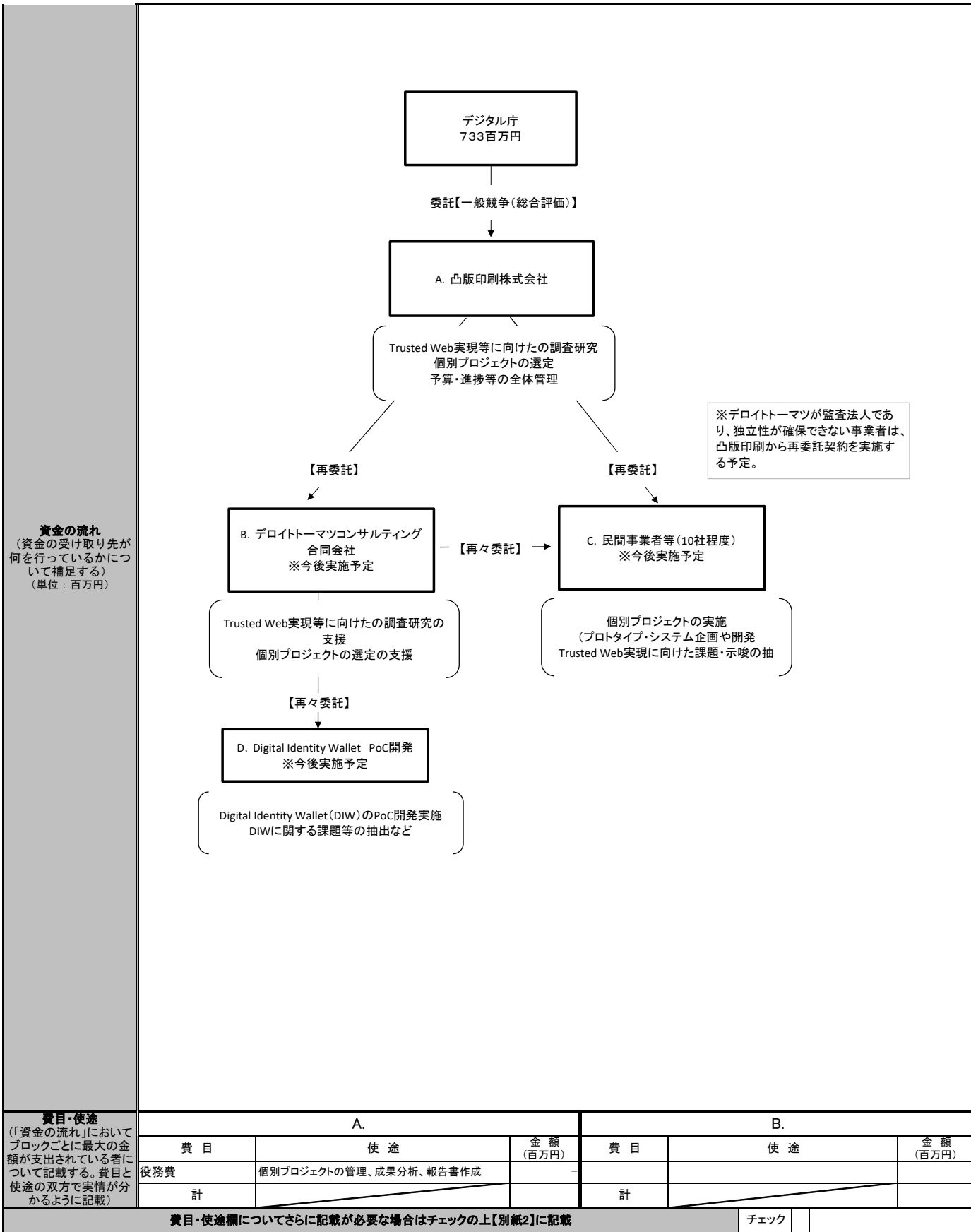
事業番号

2023 - デジ - 22 - 0008

令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)							
事業名	Trusted Web開発等推進事業費			担当部局	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	トラスト班	参事官 刀禰正樹	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	デジタル庁設置法第4条第2項第7号			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・経済財政運営と改革の基本方針2022(令和5年6月16日閣議決定) ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版(令和5年6月16日閣議決定) ・デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定) 		
政策	デジタル社会の形成に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	様々な社会活動のデジタル化が進む一方、特定のプラットフォームによるデータの囲い込みや勝者総取りによる富の偏在、データの取扱いに対する不安が問題となる中、インターネットにおける新たな信頼の枠組みの構築(Trusted Web)に向けて、本事業を通じて、具体的に解決される課題を「見える化」するとともに、さまざまな産業分野におけるユースケースを創出し、Trusted Webの具現化及び国際標準化、ひいてはDFFT(信頼できる自由なデータ流通)の実現につなげる。						
現状・課題 (5行程度以内)	2020年6月のデジタル市場競争会議における「デジタル市場競争に係る中期展望レポート」の提言を受け、DFFTの具現化も視野に、2020年10月「Trusted Web推進協議会」が発足し、2021年3月に、内外の様々な関係者と協力・連携していくため、「Trusted Webホワイトペーパーver1.0」がとりまとめられた。その後、事例の机上検討を踏まえてTrusted Webのアーキテクチャーについて検討し、2022年8月に「Trusted Webホワイトペーパーver2.0」へ改訂し、Trusted Webの実現に向けた考え方や論点を発信しているが、そのメリットについて、ユーザーとなる企業等の理解を更に広げていくといった課題がある。また、EUでは分散型で自らの属性データを管理するDigital ID Wallet(DIW)を導入する法案が2022年6月に発表され、2023年2月にDIWのツールボックスが公開されるなど、急速に対応が進められている。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業では、Trusted Webを2030年(令和12年)頃にインターネット全体で実現していくために、社会的にインパクトのあるメリットの可視化やTrusted webの機能・実装に向けた課題等の抽出に向けて、さまざまな産業分野におけるユースケースを創出するとともに、Digital Identity Wallet(DIW、端末側)における選択的屬性開示等の実証、国際的な相互運用性を検証するため、プロトタイプシステム開発等を支援・実施し、成果を分析する。また、DIWの有識者によるアドバイザーボードを立ち上げ、欧州及び米国ならびに民間の関連事業者をはじめとする海外の官民コンソーシアムとも連携し、DIW活用の課題等を検討する。						
事業概要URL	https://trustedweb.go.jp/						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	757	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	733	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 733	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	24	733	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)						-	
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)	社会的にインパクトのあるメリットの可視化やTrusted webの機能・実装に向けた課題等の抽出に向けて、プロトタイプシステム開発等を公募・支援する。また、Digital Identity Walletの有識者によるアドバイザリーボードを立ち上げ、欧州及び米国ならびに民間の関連事業者をはじめとする海外の官民コンソーシアムとも連携していく。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
↓	Trusted Web開発等推進事業により、10件程度の開発実証等を支援・実施する。	Trusted Web開発等事業の支援実施事業数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	社会的にインパクトのあるメリットの可視化やTrusted webの機能・実装に向けた課題等の抽出に向けたユースケース実証を支援し、その成果を分析することで、Trusted Webのメリットや課題、アーキテクチャの改善点を明らかにし、ホワイトペーパーに反映・改訂することで、世界に発信する。								
↓	成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
↓	Trusted Web開発等推進事業を通じて創出されるユースケースを通じて、Trusted Webのメリットや課題、アーキテクチャ等を更新したホワイトペーパーの改訂数を更新する。	Trusted Webのメリットや課題、アーキテクチャ等を更新したホワイトペーパーの改訂数	成果実績	件	-	-	-	-	-	
↓	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	Trusted Webホワイトペーパーver2.0等								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	Trusted Webホワイトペーパーにおいて、Trusted Webのメリットや課題、アーキテクチャ等を示すことで、デジタル上で情報のやりとりを行う人々が、この考え方に賛同し、Trusted Webの考え方に沿ったシステムの実装が広がり、インターネット全体に実装されていくことを目指す。								
↓	成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
↓	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)									
↓	成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
↓	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2030年頃にインターネットにおいてTrusted Webの目指すべき方向性に沿った実装が進む		成果実績	-	-	-	-	-	
	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	<Trusted Webの目指すべき方向性とは> Trusted Webは、「デジタル社会」における様々な社会活動に対応できる Trustの仕組みを作り、多様な主体による新しい価値の創出を実現することを目指す。Trusted Webが実現を目指すTrustの仕組みは、特定のサービスに過度に依存せず、 ○ ユーザ(自然人又は法人)自身が自らに関連するデータをコントロールすることを可能とし、 ○ データのやり取りにおける合意形成の仕組みを取り入れ、その合意の履行のトレースを可能としつつ、 ○ 検証(verify)できる領域を拡大することにより、Trustの向上を目指すものである。 出典: Trusted Webホワイトペーパーver2.0								
	アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		Trusted Webホワイトペーパーver2.0等において、「2030年頃にインターネット全体での実装」を目指す旨が定められ、その具体化に向けた議論を進めているところであり、現時点で定量的な目標の設定が困難なため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

事業に関連するKPIが定められている関係決定等	名称																							
	URL																							
	該当箇所																							
事業所管部局による点検・改善																								
点検結果	アクティビティについて、順測定指標は順調に推移している。																		目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)					
改善の方向性	アクティビティについて、目標年度に向け引き続き取り組む																							
外部有識者の所見																								
アウトカムについては、定量的なアウトカムの設定を引き続き検討されたい。																								
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																								
現状通り	事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。																							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																								
現状通り	引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努める。																							
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																							
	上記への対応状況																							
	その他の指摘事項																							
	上記への対応状況																							
備考																								
関連する過去のレビューシートの事業番号																								
平成23年度																								
平成24年度																								
平成25年度																								
平成26年度																								
平成27年度																								
平成28年度																								
平成29年度																								
平成30年度																								
令和元年度																								
令和2年度																								
令和3年度																								
令和4年度	2022	デジ	新22	0002																				



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	凸版印刷株式会社	7010501016231	Trusted Web実現等に向けた調査研究業務	-	一般競争契約(総合評価)	3		-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック